

戦略2 えべつの将来を創る産業活性化

計画期間 平成 26 年度～ 平成 30 年度

主管部局 経済部 関係部局 総務部、健康福祉部

めざす姿

- 農業・商業・工業等の連携により産業が活性化し、まちの活力が高まります。
- 市内での就労人口や交流人口が増加し、市内がにぎわいと活気に満ちています。

戦略を構成するプロジェクト事業費の推移

名 称	決算額									
	H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度	
2 A 産業間連携等による産業の活性化	28,006	千円	25,678	千円	25,231	千円	21,248	千円	20,597	千円
2 B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開	10,811	千円	34,617	千円	63,922	千円	93,717	千円	86,962	千円
2 C 雇用の創出と人材育成の支援	4,110 (28,552)	千円	49,910 (702,592)	千円	47,443 (234,801)	千円	45,722 (235,864)	千円	43,205 (311,938)	千円
2 D 地域資源の活用による観光の振興	4,559	千円	4,902	千円	15,744	千円	31,038	千円	29,772	千円
計	47,486 (28,552)	千円	115,107 (702,592)	千円	152,340 (234,801)	千円	191,725 (235,864)	千円	180,536 (311,938)	千円

※（ ）は他戦略との重複分
 ※H28年度はH27年度補正前倒し含む
 ※H27・28年度は完了した事業の金額も含む

戦略プロジェクト2 A 産業間連携等による産業の活性化

【プロジェクトの目標】

それぞれの産業や企業単独ではなく、江別市の特徴的な取組である産学官連携・農商工連携を強化し、多様な主体が連携して地域に根差した産業集積をはかるとともに、大学・研究機関に恵まれた江別市ならではの知的資源や学生の力を活かした産業の活性化をめざします。

◆成果指標2 A-1 (産学官・産業間連携の) プロジェクトによる新アイテム開発取組数(累計)(単位:件)

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
0	2	3	4	4	4	5

■成果動向(平成30年度の評価)

江別経済ネットワークによる異業種間連携強化を進めるとともに、それぞれの産業や企業単独ではなく、積極的な情報交換と人的交流を促進する場を継続的に確保したことや、産学官連携に基づく交流や共同研究から新たなアイテムの開発等が行われてきました。新商品開発モデル事業等の実施により、成果指標2 A-1の産学官連携のプロジェクトによる新アイテム開発取組数は平成29年度と同数ですが、これまで4件のアイテム開発につながりました。

■計画期間の取組の成果(平成26～30年度の評価)

計画期間中は2件の新アイテム開発につながり、ほぼ目標どおりの結果でありました。新アイテムの開発は、異業種間での交流の繰り返しの中から時間をかけて生まれてくるものであり、今後も江別経済ネットワークなどの異業種交流・産業間連携の継続や、国なども連携を深めながら新しいアイテムの開発に向けた働きかけを続けることで、新規産業の創出や既存企業の高度化などを図り、新製品の開発や雇用拡大などにつなげ、地域経済の活性化を進めました。

◇推進プログラム2A-① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援

<課題>

- 市内にある大学・研究機関のほか、多様な事業者の有利性を活かす

<取組の概要>

- ・市内の産業を企業などへPRすることによる相互連携のきっかけ作り
- ・研修・研究活動や地域イベントの開催等の支援により産業を活性化
- ・異業種間による連携を強め、新製品開発に向けたプロジェクトを立ち上げるとともに、情報提供や研究成果発表の機会を増加

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度	備 考
経済活動広報事業	広報した産業・企業数	9 件	18 件	11 件	
	事業費	900 千円	4,230 千円	3,348 千円	
商工業活性化事業	補助金の活用件数	15 件	10 件	4 件	
	事業費	4,469 千円	981 千円	558 千円	
江別経済ネットワーク事業	例会参加者数	168 人	167 人	187 人	
	事業費	368 千円	93 千円	59 千円	

◇推進プログラム2A-② マーケティングの視点に基づいた産業振興

<課題>

- 商品の高付加価値化や販路拡大のノウハウを持つ事業者の育成

<取組の概要>

- ・商談会等による販路拡大のほか、マーケティングテスト販売の実施や専門家による相談会の開催など一体的な支援
- ・成果発表の機会と協賛企業の掘り起し
- ・製品試作企業を掘り起し、商品化コーディネート、マーケティング調査

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度	備 考
食を軸とした地場産品販路拡大支援事業	商談会・催事出展企業数	34 社	48 社	35 社	
	事業費	448 千円	456 千円	436 千円	
商工業活性化事業【重複】2A-①	補助金の活用件数	15 件	10 件	4 件	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
江別経済ネットワーク事業【重複】2A-①	例会参加者数	168 人	167 人	187 人	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
総合特区推進事業【重複】2A-④	食関連企業の新增設数	2 社	0 社	2 社	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

◇推進プログラム2A-③ 地域に根差した商店街の魅力づくりの支援

<課題>

- 地域の特性を活かした商店街の魅力づくり
- 高齢者や学生、地域住民など多様な主体や様々な世代の交流による商店街の活性化

<取組の概要>

- ・学生や高齢者など多様なコミュニティ活動主体参入の促進（商店街への参入促進のため、各種支援制度や成功事例を紹介するセミナーの開催、希望者への相談・支援の実施）
- ・魅力あるテナントの誘致など商店街活性化に向けた取組を支援（商店街の要請により出店したテナントの出店経費に対する補助、地域課題解決のためのコーディネーター配置）
- ・商店街の活性化を目的としたイベント等への支援

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度	備 考
野幌駅周辺地区商店街活性化促進事業	相談件数	119 件	93 件	131 件	
	誘致件数	1 件	0 件	0 件	
	事業費	7,207 千円	2,849 千円	2,454 千円	
商店街参入促進事業	セミナー参加者数	57 人	39 人	57 人	
	参入相談件数	0 件	0 件	4 件	
	事業費	293 千円	327 千円	249 千円	
商工業活性化事業【重複】2A-①	補助金の活用件数	15 件	10 件	4 件	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

◇推進プログラム2A-④ 大学・研究機関との共同研究の推進

<課題>

- ネットワークの活力向上
- 連携強化の仕組みづくり

<取組の概要>

- ・連携強化と自立的な運営に向けた仕組みづくり
- ・食の臨床試験に関する支援
- ・既存補助金の利活用による産学連携の取組支援
- ・ネットワークの自立的運営に向けた支援

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度	備 考
総合特区推進事業	食関連企業の新増設数	2社	0社	2社	
	事業費	11,546千円	12,312千円	13,493千円	

戦略プロジェクト2B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開

【プロジェクトの目標】

江別市の基幹産業の一つである農業が、第2次産業・第3次産業と連携して実施する江別産農畜産物の高付加価値化の取組や立地環境を活かした食関連産業の集積を図るとともに、江別産の「食」について市内・道内はもとより道外・海外といった広域的な市場ニーズに合わせた販路拡大への取組などを支援します。

◆成果指標2B-1 えべつの農産物加工品認定数（累計）（単位：件）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
0	5	7	9	11	11	22

■成果動向（平成30年度の評価）

農畜産加工品の主な原材料を江別産とすることなどを条件とした認証制度が、平成26年度からスタートしており、初年度は、ケチャップ、ジャム、ジュースなど5件が認定され、平成27年度以降、各年度2件が追加認定されておりましたが、平成30年度は認定の更新のみとなり、認定数は維持となりました。農業者自らが農業の閑散期などを利用して商品開発や製造等を行うため、単年度に多くの件数は見込めませんが、着実に件数を増やしていくことが、江別の農産物加工品のPR及びブランド力の向上に寄与するものと考えます。

■計画期間の取組の成果（平成26～30年度の評価）

認定を受けた安全安心な地元農産物加工品の認知度を高め、販売促進や今後の認定件数の増を図るため、直売所やイベントでのPR等を進めてきました。

平成28年度からは農畜産物の加工新商品開発等に対して補助を実施し、また、平成29年度からは都市と農村の交流センター内のテストキッチンが稼働し、自身で工房を持たない農業者でも農産物加工品の開発が可能となりました。

成果指標2B-1のえべつの農産物加工品認定数については、新商品は開発期間がかかるため、毎年度実績を出すことが難しい状況にあり目標に達しませんでした。新たに加工品製造に取り組む農業者を増やすため、加工品に関する研修会の開催等を行っており、着実に実績を積み重ねることが重要と考えます。

◇推進プログラム2B-① 「食」の付加価値を高める産業の集積

<課題>

- 企業立地を推進するための江別市の魅力付け
- 企業間連携を図るための企業情報の収集・PR

<取組の概要>

- ・企業ガイド等の作成、更新などによる市内企業のPRと企業間連携の促進
(工業団地協同組合等との連携)
- ・フード特区制度や企業立地にかかる補助制度の運用による食関連企業等の立地促進
(H26 江別市企業立地等の促進に関する条例施行)

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度	備 考
企業誘致推進事業	立地企業・事業所数	2社	4社	5社	
	事業費	1,479千円	1,576千円	1,794千円	
企業立地等補助金	補助金認定件数（累計）	27件	30件	32件	
	事業費	55,846千円	87,749千円	78,934千円	

◇推進プログラム2B-② 付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援

<課題>

- 市内企業の体力や海外戦略の段階に応じた、海外展開支援
- ブランド品を維持・拡大するための支援
- 市内外への継続的なPR
- 加工品開発のノウハウ等支援
- 農畜産物の高付加価値化
- 販路拡大等の支援
- 需要を伸ばすための支援
- 6次産業化・グリーンツーリズムの推進



<取組の概要>

- ・加工品製造者等による研修会及び市民向け加工品フェアの開催支援
- ・地域のブランド品表示等の支援及びPR
- ・商談会への出展等の支援
- ・消費者と生産者の相互理解の場の開催を支援
- ・指導機関等のセミナー情報等の提供
- ・広報等メディアの活用や市民農場見学会等の開催を支援
- ・江別産農畜産物（小麦・プロッコリーなど）を活用した商品化の支援
- ・消費者向けイベント等の開催を支援
- ・都市と農村の交流センターを活用した商品開発等の支援
- ・意欲のある市内企業に対する関係機関と連携した低リスクによる海外販路開拓支援
- ・輸出補助金

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度	備 考
都市と農村交流事業	グリーンツーリズム関連施設の利用者数	526,212人	580,762人	614,959人	
	イベント参加者の満足度	100%	95%	100%	
	事業費	1,647千円	1,266千円	1,130千円	
6次産業化支援事業	協力隊員数	1人	—	—	H29から指標を変更
	テストキッチン利用者数	—	356人	278人	
	交流センター利用者数	—	31,840人	23,595人	
	事業費	2,371千円	1,649千円	2,369千円	
江別産農畜産物ブランディング事業	特産品の認知個数	2品目	2品目	2品目	
	事業費	2,579千円	1,477千円	2,735千円	
総合特区推進事業 【重複】2A-④	食関連企業の新増設数	2社	0社	2社	
	事業費	—千円	—千円	—千円	

【プロジェクトの目標】

「働きたいまち・えべつ」・「企業が立地したいまち・えべつ」をめざして、企業にとって魅力的な立地環境を整備するなど、企業立地の促進による雇用創出と、企業が必要とする労働力を確保するための就労支援・人材育成に一体的に取り組めます。

◆成果指標2C-1 市内企業へ就職した市内の新卒者数（高校・大学）（累計 単位：人）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
45	55	111	174	229	275	250

■成果動向（平成30年度の評価）

市内には大学4校、短大1校、高校5校があり、その卒業生が地元で就職することは市内産業の発展や人口減少への対策として重要です。
平成30年度は前年に引き続き、高校生及び大学生に対する市内企業への情報提供に努めた結果、市内企業に就職した高校・大学の新卒者は46人となりました。

■計画期間の取組の成果（平成26～30年度の評価）

計画期間中の取組成果として、成果指標2C-1の市内企業へ就職した市内の新卒者数は平成30年度までに275人となり、目標の250人を上回りました。
この5年間で、雇用情勢は大きな変化を見せ、企業の人材不足が顕著になってきており、被雇用者がより条件の良い就労環境を求める状況になってきています。そのため、今後も就業体験などを通し、市内企業の認知度向上を図るほか、働きやすい就労環境の整備に取り組み、人材の確保を進めました。

◇推進プログラム2C-① 企業誘致のための条件整備

<課題>

- 新たな補助制度の周知
- 工業用地の確保
- 年度途中からでも待機することなく保育園に入園できる体制の整備
- 多様な保育（子育て支援）ニーズへの対応

<取組の概要>

- ・企業立地の補助制度のPRによる企業立地の促進
- ・企業誘致のための新たな工業用地の確保
- ・待機児童解消の推進（民間事業者への支援を行い、保育の提供体制を拡大、企業主導型保育開設促進のためのPR活動実施等）

事務事業	指標	H28年度	H29年度	H30年度	備考
待機児童解消対策事業 【重複】3A-①	入所できた児童数	77人	107人	159人	
	事業費	(156,909)千円	(235,864)千円	(311,938)千円	
企業立地等補助金 【重複】2B-①	補助金認定件数（累計）	27件	30件	32件	
	事業費	—千円	—千円	—千円	

◇推進プログラム2C-② 潜在労働力の掘り起こし（就労支援）

<課題>

- 市内企業の求人に対する十分な労働力の確保
- 子育て等をしながら働きたい女性の課題解消
- 障がい者の就労確保、就労に関する課題解消

<取組の概要>

- ・女性の就職に向けた支援の推進（関係機関との連携による各種セミナー、職場研修を含む就職支援等）
- ・待機児童解消の推進（民間事業者への支援を行い、保育の提供体制を拡大、企業主導型保育開設促進のためのPR活動実施等）
- ・障がい者の就労支援

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度	備 考
働きたい女性のための就職支援事業	就職支援セミナー来場者数	117人	108人	87人	
	就職者数	49人	58人	57人	
		事業費	21,813千円	20,959千円	18,472千円
障害者就労相談支援事業	年間延べ相談件数	988件	950件	927件	
	一般就労件数	8件	17件	7件	
		事業費	9,088千円	9,159千円	9,159千円
待機児童解消対策事業【重複】3A-①	入所できた児童数	77人	107人	159人	
	事業費	—千円	—千円	—千円	

◇推進プログラム2C-③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援

<課題>

- 市内大学・高校等から市内企業へ就職する者の増加
- 市や市内企業等で活躍する人材の増加
- 大学生を市内での就業につなげる実践的な仕組の整備

<取組の概要>

- ・有給インターンシップや企業合同説明会等の実施により、市内企業と市内の大学・高校等との連携強化
- ・インターンシップ（就業体験）や面接指導等による市内高校生の就職支援
- ・大学生の人材育成を目的とする市役所での長期インターンシップ（実学教育）の実施
- ・インターンシップの効果検証と商工会議所、民間企業等への情報提供、啓発及び就職支援

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度	備 考
有給インターンシップ等地域就職支援事業	有給インターンシップ参加学生数	45人	46人	66人	
	事業費	11,251千円	13,036千円	13,079千円	
高校生就職支援事業	就業体験に参加した生徒のうち、意義があったと思う生徒の割合	93%	95%	90%	
	就職希望者に対する研修等に参加した生徒のうち、役に立ったと思う生徒の割合	86%	88%	86%	
	事業費	2,500千円	2,500千円	2,399千円	
市内大学等インターンシップ事業	将来、市や市内企業等で働きたいと思う学生の割合	87.5%	88.9%	85.7%	
	インターンシップ参加に意義があったと思う学生の割合	100%	100%	100%	
	事業費	93千円	68千円	96千円	

【プロジェクトの目標】

石狩川や野幌森林公園などの豊かな自然、地場産品、公共施設や歴史的建造物など、既存の地域資源を再評価し、観光資源として有効活用するとともに、大都市である札幌市に隣接しているという地の利を最大限に活かした、江別市ならではの観光を推進します。

◆成果指標2D-1 主要観光施設の利用者数（単位：人）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
126,000	147,407	181,600 (239,800)	174,638 (434,444)	174,498 (348,600)	186,318 (313,985)	132,600 (430,000)

*上段（H27～）は、未来戦略策定時の主要観光施設5施設の値

下段（H27）は、未来戦略計画策定後に整備された主要観光施設を含めた計6施設の値（アースドリーム角山が加わる）

下段（H28～）は、未来戦略計画策定後に整備された主要観光施設を含めた計7施設の値（アースドリーム角山とEBRIが加わる）

■成果動向（平成30年度の評価）

計画策定後に整備された施設を含めた指標下段の主要観光施設7施設の利用者数は、EBRIのオープニング効果が落ち着いたことなどもあり、前年度と比較し減少したものの、指標上段の主要観光5施設の利用者数が前年度を上回ったことは、「食と農」、「歴史あるれんが」など江別の特性や観光資源を活かした観光プロモーションや認知度向上などの取組が成果となって表れたものと考えます。

■計画期間の取組の成果（平成26～30年度の評価）

成果指標2D-1主要観光施設の利用者数について、計画策定後に整備された施設を含めた指標下段の主要観光施設7施設の利用者数は、EBRIが開業年度の利用者数を維持できなかったこともあり、目標に達しませんでした。主要観光5施設においては目標を達成しました。

これは、既存施設の魅力発信に加え、観光客を期待できる新たな施設の開業を、江別の観光プロモーション、認知度向上、市内周遊を促す取組に取り入れたほか、道央圏からの誘客を目指すこととした「江別市観光振興計画」に基づく観光推進の取組が成果となって表れたものと考えます。

◇推進プログラム2D-① 地域資源の観光への有効活用

<課題>

- 市外における「江別」の認知度の向上
- 大都市札幌に隣接している優位性を十分に活かす
- 市外への継続的なPR
- 江別の特産品や観光情報等の発信

<取組の概要>

- ・「食と農」、「歴史あるれんが」を観光の軸として策定した観光振興計画の実施
- ・ウォーキングやドライブコースなどの情報発信による江別の魅力をPR
- ・札幌圏を対象とした農業体験バスツアーの実施
- ・地域おこし協力隊を活用した地域資源を活かしたPR活動、イベント事業等のサポート、各種団体が行う事業のコーディネート

事務事業	指標	H28年度	H29年度	H30年度	備考
観光振興計画推進事業	観光入込客数	— 人	915,337 人	1,353,315 人	H30事業名変更
	計画策定数	—	1 計画	— 計画	
	事業費	— 千円	13,892 千円	13,469 千円	
地域発信魅力発信事業	主要観光施設観光入込客数 (未来戦略策定時5施設)	174,638 人	174,498 人	186,318 人	
	主要観光施設観光入込客数 (H27:6施設H28:7施設)	434,444 人	348,600 人	313,985 人	
	事業費	4,877 千円	6,511 千円	6,327 千円	
江別アンテナショップGET'S管理運営事業	アンテナショップ来店者数	42,250 人	32,486 人	21,108 人	
	アンテナショップ来店者数(市外)	16,296 人	11,516 人	5,857 人	
	事業費	8,224 千円	7,695 千円	7,395 千円	
都市と農村交流事業 【重複】2B-②	グリーンツーリズム関連施設の利用者数	526,212 人	580,762 人	614,959 人	
	イベント参加者の満足度	100 %	95 %	100 %	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

◇推進プログラム2D-② 観光資源のパッケージ化

<課題>

- 札幌近隣において主流の都市型観光の促進
- 個別の観光情報の提供

<取組の概要>

- ・発掘した地域特性や魅力を観光プランに盛り込み、交通手段別（車・自転車・徒歩・公共交通機関）、目的別（れんが・食・体験・健康等）に応じた多様な観光プランの提案
- ・観光パンフレットの作成・配付、ホームページ・SNSなどによる観光情報の提供

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度	備 考
観光振興計画策定事業 【重複】2D-①	観光入込客数	— 人	915,337 人	1,353,315 人	H30事業名変更
	計画策定数	—	1 計画	— 計画	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
江別観光協会補助金	観光協会事案件数	8 件	9 件	9 件	
	事業費	2,643 千円	2,940 千円	2,581 千円	
地域発見魅力発信事業 【重複】2D-①	主要観光施設観光入込客数 (未来戦略策定時5施設)	174,638 人	174,498 人	186,318 人	
	主要観光施設観光入込客数	434,444 人	348,600 人	313,985 人	
	H27:6施設 H28~:7施設 事業費	— 千円	— 千円	— 千円	